

平成 29 年度事業計画書

事業計画の概要

日本透析医会は、昭和 62 年 7 月に社団法人として設立（平成 24 年 4 月に公益社団法人に移行）以来、本年 7 月で満 30 年を迎える。法人設立後現在に至るまで一貫して透析療法の質的向上と標準化を目的とした調査・研究を重ね、その成果を医会雑誌・マニュアル・ガイドライン（小冊子）の発行や、ホームページ等を通じて会員は元より医療関係者に広く周知すべく努力してきたところである。また、腎移植普及推進への協力や透析療法に従事する医療関係者への教育研修、医療安全対策、腎不全医療を推進するための学術研究に対する助成等に取り組んできている。

同時に、災害時における国、地方公共団体等が行う腎不全医療に関する安全対策に協力してきている。とりわけ災害時における透析医療機関、透析患者の状況把握、並びに水、医薬品等の確保のための情報収集に必要な「災害時情報ネットワーク」の拡充・運用と、災害時情報伝達訓練の実施により万全の体制整備に努力してきている。

平成 29 年度においては、公益社団法人としての役割を果たしていくため、これまでの事業を継承するとともに、担当する委員会活動の活性化を図り、さらなる発展に努めることとする。

1. 腎不全対策・透析療法に関する調査・研究事業

- 1) 標準的な透析治療の質的向上に関する調査・研究を行う。 [標準透析療法委員会*]
 - 透析療法に関する情報交換・共有を行うため支部長会を開催する。
 - * 従前の適正透析医療普及推進委員会（適正透析導入部会、維持透析療法部会、適正透析普及部会）、医療廃棄物対策部会を統合し、透析療法全般に対応する委員会に変更する。
- 2) CKD（慢性腎臓病）の早期発見のための社会システム作り、及び CKD に対する保存療法、透析（腹膜、血液）療法、腎移植まで広範に教育・啓発活動を行う。 [腎不全対策委員会]
 - (1) CKD の普及・教育・啓発に向けて関係機関及び団体と連携・協力して活動する。 [CKD（慢性腎臓病）対策部会]
 - (2) 多様化した在宅血液透析の役割とそれに伴う諸問題について検討する。 [在宅血液透析部会]
 - 透析関連（機器・薬剤）メーカーなどとシステム構築に必要な部会を設け、患者および医療従事者双方にとって安全かつ簡便な在宅透析システムの在り方について検討する。
 - 在宅血液透析のデータベース構築と解析による評価について、関連学会・研究会と連携し、小部会を設けシステムを構築する。
 - 通院困難な透析患者に対する治療の質と安全性を担保した在宅血液の在り方について、関連学会・研究会と連携し検討する。
- 3) 透析医療に関する経済的、経営的な調査分析を行い、透析医療制度に関する調査・研究を行う。 [医療経済委員会]
 - (1) 透析医療制度に関する調査・研究を行う。 [制度調査部会]
 - レセプト（診療報酬明細書）分析調査
 - 昨年開発した WEB 上でのデータ収集・分析システムを本稼働する。
 - (2) 透析関連の費用対効果分析に関して検討を行う。 [経営検討部会]
 - 透析医療機関経営・施設実態調査（2 年に 1 回、実施年）
- 4) 医療保険の透析療法に及ぼす影響調査を行う。 [医療保険委員会]
 - 第 22 回透析保険審査委員懇談会開催

- 透析診療報酬の問題点を議論するとともに、診療報酬改定要望等の収集を行う。
- 5) 2015年に65歳以上の高齢者が29%と超高齢化社会となった日本国において、末期腎不全患者においては、65歳以上が60%、75歳以上が30%を占めるという更に顕著な高齢化がみられる。要介護問題を含め、高齢者腎不全患者の抱える問題を明らかにし、高齢腎不全患者が幸せな生活を送れる医療・介護体制構築に向けて提言を行う。 [介護保険委員会]
- 6) 透析医療の現状を踏まえ、将来的に良質で効率的な透析医療提供体制の確保に向けた調査・検討を行う。 [グランドデザイン作成検討委員会]

2. 透析療法の普及事業

透析療法の普及活動及び機関誌の発行を行う。 [会誌編集委員会]

- 機関誌（医会雑誌）発行
 - 年3回（4月、8月、12月）の定期的刊行
- 機関誌の充実
 - 透析医療経済と災害対策問題を2重要課題として掲載
 - 透析医療、最新・話題の学術論文の提供、各種調査報告等のタイムリーな掲載
 - 病理組織など一部図表のカラー化
- 各種学術情報の提供
 - 研修セミナー、医療制度、学会・研究会案内等
- その他
 - 時宜に適った特集号・別冊の発行

3. 透析療法に関わる医療従事者の教育研修事業

透析医療従事者教育研修会の開催及び地域研修会等の支援を行う。 [研修委員会]

- 研修セミナーの開催（春期研修会）
 - 期日：平成29年5月21日（日）
 - 場所：コクヨホール（東京都港区）
 - ※秋期は、創立30周年記念事業があるため開催しない。
- 関係学会・団体との教育研修協力
- 地域医療システム確立のための都道府県単位で開催される研修会等の支援

4. 公募研究助成事業

透析医療の発展に資する研究を公募し、助成してその実現を促進する。 [研究助成審査委員会]

5. 災害時における国、地方公共団体等が行う腎不全医療に関する安全対策への協力事業

災害時情報ネットワークシステムの拡充・運用による災害時透析医療の体制整備を図る。

[災害時透析医療対策委員会]

- 厚生労働省防災業務計画に基づく災害時協力体制の整備
- 災害時における緊急透析医療システムの運営
 - 「災害時情報ネットワーク」を軸にした災害時情報共有体制の整備・運営
 - （第18回災害時情報ネットワーク会議開催及び情報伝達訓練、サーバーの管理、メーリングリストの運営を含む）
- 災害時支援人材・資材派遣システムの構築

- 透析医療災害対策マニュアルの作成
- 日本災害時透析医療協働支援チーム（JHAT）への参画，協力

6. 医療安全対策事業

透析医療にかかわる安全対策，特に感染防止対策，医療事故対策の充実・強化を図る。

〔医療安全対策委員会〕

- (1) 「透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するガイドライン」（平成 27 年 3 月発刊）のうち，日常的にみられるインフルエンザ，ノロ，MRSA，多剤耐性緑膿菌，結核，疥癬について，代表的な病院での対応を調査し，比較選択のうえ参考例を提示する。〔感染防止対策部会〕
- (2) 医療事故調査報告制度の周知及び対応策をたて，医療事故対策を進める。〔医療事故対策部会〕

7. 日本透析医会創立 30 周年記念事業

〔創立 30 周年記念事業実行委員会〕

- 「創立 30 周年記念講演会・記念祝賀会」を開催する。
期日：平成 29 年 10 月 21 日（土）
場所：経団連会館（東京都千代田区）